

## 事業者温室効果ガス削減報告書概要（第二計画期間） 第2年度分

## 1 事業所の概要

事業者の名称	三井不動産株式会社		
事業所の名称	ララガーデン長町		
事業所の所在地	宮城県仙台市太白区長町7-20-5		
主たる事業	不動産賃貸業・管理業		
事業者の該当要件	○	条例第2条第5号イに該当する特定事業者	
		条例第2条第5号ロに該当する特定事業者	
		条例第2条第5号ハに該当する特定事業者	
		条例第15条第1項に該当する一般事業者	
温室効果ガス排出抑制のための基本方針	以下の取り組みを継続的に実施することで温室効果ガス排出量の削減に努めます。 ・共用部設備の発停時間や空調温度設定等は外気温度や来館者数等を考慮して随時見直し変更を実施 ・日常運用の中で日報の記録、チェックリスト類を通じて各設備管理員がエネルギー管理を徹底 ・館内照明において高効率機器（LED照明）の採用を推奨 ・バックヤードエレベータの営業時間帯における運用停止措置		

## 2 温室効果ガスの排出状況等

温室効果ガスの排出状況及び削減目標・非化石エネルギーの使用割合目標	基準年度	2022年度	基準排出量	3,458 t-CO <sub>2</sub>	基準原単位	0.08201
	目標年度	2025年度	目標排出量	3,354 t-CO <sub>2</sub>	目標原単位	0.0795497
			削減率	3.00 %	削減率	3.00 %
		非化石エネルギーの使用目標割合	非化石電気	0.00 %	その他非化石エネルギー等	0.00 %
温室効果ガスの排出状況	第1年度	2023年度	排出量	3,437 t-CO <sub>2</sub>	排出原単位	0.08151
			削減率	0.60 %	削減率	0.60 %
		非化石エネルギーの使用割合	非化石電気	18.00 %	その他非化石エネルギー等	0.00 %
	排出量等の増減理由		・2023年度は基準年度比で0.6%減少した。 ・夏期(7～9月)の外気温度が昨年よりも上昇したため、空調負荷が高まり使用量が増加した。 ・一方で、省エネ施策として、吸収式冷温水機の冷温水送水温度を見直したことによりガス使用量が減少した。			
	第2年度	2024年度	排出量	2,984 t-CO <sub>2</sub>	排出原単位	0.07077
			削減率	13.70 %	削減率	13.70 %
		非化石エネルギーの使用割合	非化石電気	29.00 %	その他非化石エネルギー等	0.00 %
	排出量等の増減理由		・2024年度の排出量は基準年度比で約13.7%減少した。 ・基準年と比較すると、電力排出係数が17.6%と大幅に減少した。それに加え、原油換算量も10.4%減少している。主なエネルギー使用量の減少要因は以下があげられる。 ・2024年度は冷夏だったため、空調用のガス使用量が減少した。 ・テナント専有部が一部空き区画になっているため、エネルギー使用量が減少した。			

	第3年度	2025年度	排出量	t-CO <sub>2</sub>	排出原単位	
			削減率	%	削減率	%
		非化石エネルギーの使用割合	非化石電気	%	その他非化石エネルギー等	%
	排出量等の増減理由					

3 温室効果ガスの排出抑制に関する取組

基本対策の実施状況	基準年度	100 %	目標年度	100 %	
	第1年度	100 %	実施状況の説明等	計画書に記載したとおりの対策が概ね実施できている。	
	第2年度	100 %	実施状況の説明等	計画書に記載したとおりの対策が概ね実施できている。	
	第3年度	%	実施状況の説明等		

選択対策の実施状況	項目		実施状況
	エネルギー使用量の見える化（前年度比較）		実施済
	エネルギー使用量の見える化（分計による課題発見）		実施済
	外気冷房		実施済
	ポンプ、給水系統の保全管理		実施済
	デマンド管理		実施済
	外部機関による省エネ診断		実施済
	熱源設備 冷却水温度の適正管理		一部実施済
	熱源設備 冷却水の水質管理		実施済
	窓の断熱性向上		一部実施済
その他の対策の実施状況	項目	具体的な取組内容	実施状況
	廃棄物削減対策の実施	テナントへのリサイクル品目分別徹底	実施済